

# 学校法人東京農業大学理事長特別座談会

## 「食品安全研究センター」設立

### 新たな「食」を開く

学校法人東京農業大学は4月、「食品安全研究センター」(Food Safety Research Center)以下FSRC)を立ち上げた。「食」の生産から流通、消費まで幅広く人材を輩出してきた総合教育機関として、食に関する安全・安心を支える情報発信を加速する考えだ。同法人の大澤貫寿理事長は同センター設立の狙い、東京農大グループ内連携の可能性など、同大の現役留学生、食品関連メディア編集長を交え、多様な視点から聞いた。

#### 出席者

学校法人東京農業大学  
大澤貫寿 理事長

東京農業大学食品  
安全健康学科3年

アデリン・アン・  
リー・シエエンさん

たべぶる

貞苺江梨子 編集長

(司会)  
日本食糧新聞社

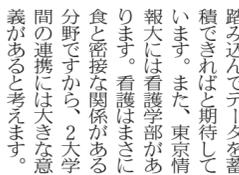
今野正義 会長CEO



大澤貫寿学校法人東京農業大学理事長



今野正義  
日本食糧新聞社長CEO



貞苺江梨子  
「たべぶる」編集長

## 安全・安心への情報発信加速

### 科学に基づく啓発活動が急務

今野 食品に関するリスク因子といえど、食品には「情報」が不可欠だ。農産物や加工品は、生産から流通、消費まで幅広いリスクがあり、そのリスクを減らすには、科学的な情報発信が急務だ。同大では、FSRCの設立を通じて、科学的な情報発信を加速する考えだ。

今野 食品に関するリスク因子といえど、食品には「情報」が不可欠だ。農産物や加工品は、生産から流通、消費まで幅広いリスクがあり、そのリスクを減らすには、科学的な情報発信が急務だ。同大では、FSRCの設立を通じて、科学的な情報発信を加速する考えだ。



貞苺江梨子  
「たべぶる」編集長

今野 食品に関するリスク因子といえど、食品には「情報」が不可欠だ。農産物や加工品は、生産から流通、消費まで幅広いリスクがあり、そのリスクを減らすには、科学的な情報発信が急務だ。同大では、FSRCの設立を通じて、科学的な情報発信を加速する考えだ。

今野 食品に関するリスク因子といえど、食品には「情報」が不可欠だ。農産物や加工品は、生産から流通、消費まで幅広いリスクがあり、そのリスクを減らすには、科学的な情報発信が急務だ。同大では、FSRCの設立を通じて、科学的な情報発信を加速する考えだ。

データ解析などグループ連携  
今野 いまは「情報」が不可欠だ。農産物や加工品は、生産から流通、消費まで幅広いリスクがあり、そのリスクを減らすには、科学的な情報発信が急務だ。同大では、FSRCの設立を通じて、科学的な情報発信を加速する考えだ。

今野 食品に関するリスク因子といえど、食品には「情報」が不可欠だ。農産物や加工品は、生産から流通、消費まで幅広いリスクがあり、そのリスクを減らすには、科学的な情報発信が急務だ。同大では、FSRCの設立を通じて、科学的な情報発信を加速する考えだ。

## 「食の安全・安心」に挑む。

# 学校法人東京農業大学

## 食品安全研究センター(FSRC)誕生!

人類にとって最も重要な課題のひとつである「食の安全と安心」。

その食品の安全確保と食の安心の啓発により、持続可能な社会の構築に貢献することを目的として活動を行います。

お問い合わせ先 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学 8号館 3F TEL 03-5477-2619 mail fsrc@nodai.ac.jp

[www.nodai.ac.jp/fsrc/](http://www.nodai.ac.jp/fsrc/)

FSRCへのサポートのお願い

FSRCでは、情報発信、安全性研究、食の安全性に関する教育・啓発、リスクコミュニケーションなど幅広い活動を展開していきます。「食品の安全は東京農大のFSRCに任せ」をコンセプトに、生産環境から消費・健康までトータルに食の安全と安心を科学することを目指します。

食の安全に関わる共同研究、委託研究、業務委託、コンサルタント契約などを積極的に行っておりますのでご相談ください。また、FSRCの活動に賛同しご支援していただく賛助会員や寄付金などの募集を予定しております。詳細はホームページをご確認ください。

FSRCとの連携はこちら

＜活動内容(予定)＞

- ・シンポジウム(年1回を想定)
- ・研究活動
- ・教育と啓発活動
- ・リスクコミュニケーション
- ・食の安全に関するコンサルティング